

## カナダの金融市場動向 Weekly Report

【2018年9月15日～2018年9月21日の推移】

### 【1】先週の回顧

先週のカナダ・ドルは対円、対米ドルともに上昇しました。また、カナダ5年国債利回りは上昇しました。

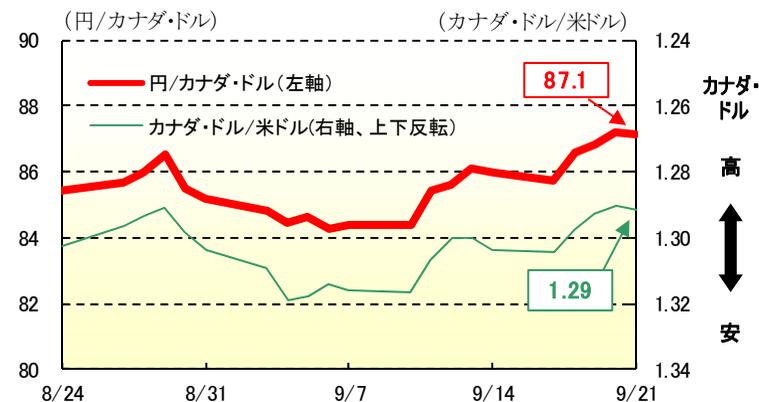
米中の通商問題についての懸念は残っているものの、市場のリスクセンチメントが改善し円や米ドルが弱含みました。また、堅調な原油価格はカナダ・ドル上昇の追い風となりました。経済指標では、CPI(消費者物価指数)や小売売上高の発表がありました。CPIはおおむね市場予想通りであったほか、自動車を除いた小売売上高が市場予想を上回るなど、カナダ経済が堅調であることを確認するとともに利上げの継続を正当化する内容となりました。市場では、10月にカナダ銀行(中央銀行)が利上げを実施する可能性が高いとみられています。

### 【2】今週の見通し

今週は、7月のGDP(国内総生産)などの発表が予定されています。

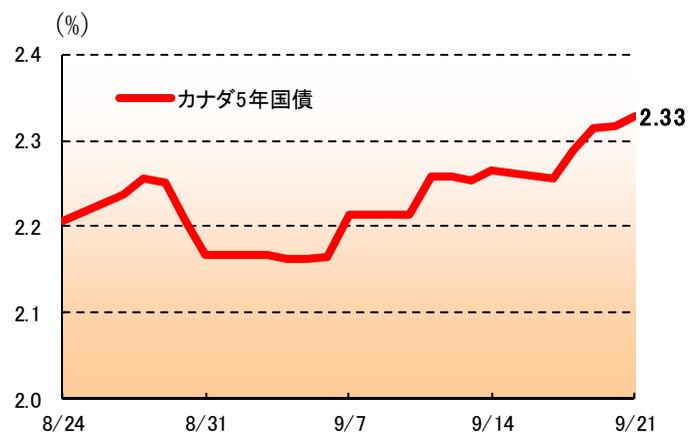
市場では引き続きNAFTA(北米自由貿易協定)再交渉の動向が注目されます。先週も再交渉はこう着状態が続き、米国とカナダは合意に至りませんでした。米国側はカナダ抜きでメキシコと2国間協定を結ぶ可能性に言及するなど、強硬な姿勢を維持するカナダへのけん制を続けています。米国は9月末を当面の交渉期限と考えていることもあり、自動車関税をちらつかせながらカナダの譲歩を引き出したい考えです。一方のカナダは9月中の合意にはこだわらない考えを示しており、今週再交渉に動きが見られるか注目が集まっています。

【カナダ・ドル 為替推移】 (2018年8月24日～2018年9月21日)



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。  
(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

【カナダ 金利推移】 (2018年8月24日～2018年9月21日)



(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

### 当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託フリーダイヤル0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>